

厳しい気象条件に打ち勝つ緻密な連絡体制。 mcAccess e の導入で灯油配送の効率化を実現しました。

広域の業務エリアをカバーする車両に、クリアな音質で円滑&スピーディに連絡。
大雪の日もキメ細かな報告でお客様に対応しています。

インタビュー

「パソコンで車両の現在位置がリアルタイムにわかる、
GPS機能付きの mcAccess e の便利さに大満足!!」

株式会社出光エネルギーサービス札幌は、出光系列の灯油販売14社が集まって平成9年に設立。灯油の配送を主業務とする運輸企業で、統合により配送業務の効率化を図りました。現在、札幌市内および近郊エリアで16台のタンクローリー車が稼働していますが、さらなる効率化を目指して、平成17年、通信連絡システムとして mcAccess e を導入しました。

真冬の北海道は0℃以下の日が続くことが多く、石油ストーブは生活の必需品。灯油の消費量が多い戸建て住宅では、敷地内に400ℓ以上の灯油が入るホームタンクを設置しています。ホームタンクに定期的に給油するのが、灯油配送の業務ですが、連日厳しい寒さが続く折には、灯油の消費量が一気に増え、突然のオーダーも発生します。こうしたお客様の声に臨機応変に対応できることが、大切なサービスのひとつとなっています。「以前は他の無線や携帯電話で16台全てに連絡を取るという大変な労力を費やしました。mcAccess e 導入後は近くのルートにいる1~2台に連絡するだけで、配車できるようになりました」と mcAccess e のパワーに納得、満足。給油作業時には、乗務員が運転席から離れ



●パソコンのGPS画面で全車両の現在位置が一目瞭然。



●車両に積載されている mcAccess e。乗務員間の情報交換にも活躍しています。



●灯油配送に使用されるタンクローリー車。全車両に mcAccess e を導入。



●株式会社出光エネルギーサービス札幌 代表取締役専務 種畑 基さんは、mcAccess e を“頼りになるパートナー”として位置付けています。

ることもありますが、その場合はメール機能が活躍します。「車内に戻りメール着信があれば、すぐに事務所と連絡が取れるので、業務連絡がスムーズになりました」と大森業務課長。mcAccess e なら個別通信で各車両の乗務員同士が連絡し合え、リアルタイムな交通状況や天候などの情報交換ができるので、移動に費やすムダ時間を大幅にカットできます。繁忙期である厳冬には、緊急のオーダーも増加。激しい降雪で道路がアイスバーン状態になると、たちまち交通渋滞が発生します。「お客様に到着時間を知らせる必要がある場合、mcAccess e は頼りになるハートナー。真のサービスを提供する上でも必需品です」。車両の現在位置と吹雪や交通渋滞の状況を的確に伝えれば、お客様は必ず理解してくださるそうです。昨日通れた道が、雪のため一夜にして車両の通行が難しくなることも日常茶飯事の冬の北海道。厳しい自然の下、生活者のライフラインである灯油配送に携わる同社にとって、今や効率的な業務に不可欠となった mcAccess e は、お客様へのサービスと明日の企業躍進をつなげる大切な通信手段になっています。

Point

●GPSで車両位置把握・管理

GPSにより、事務所にいながらにして、車両位置・走行状態がリアルタイムでわかります。電話による確認が不要になり、効率的。

●車両を離れているときに便利なメール機能

メールの作成・送受信も簡単操作でOK。乗務員が車両を離れているときも、車両に戻ればすぐに対応できます。

●休止の際も、ロムの取り外し不要

シーズオフには、休止制度を利用。その際、アナログと異なり、ロムの取り外しが不要です。